

◇ 令和2年度指定管理者事業評価書

| 施設名 | のびっ子「渋川」 | | | 指定管理料 | 利用料金 | 支出 | 経理の状況 | 施設運営の方針 | |
|----------|---|-----------|-----|-------------|------|-------------|---|-------------------------------------|----|
| 施設所管課 | 子ども未来部 | 子ども・若者政策課 | 初年度 | 14,734,416円 | / | 16,630,205円 | 事業収益を保育や施設の安全維持管理に還元するなど、効果的な予算執行が行われた。(差額については、おやつ代等に対応) | 施設の運営や事業の実施において、より満足度の高いものへとしていきます。 | R2 |
| 施設HPアドレス | http://ayumi.hoikuen.to/nobikko_shibukawa/ | | 2年目 | | | | | | R3 |
| 指定管理者名 | 社会福祉法人良友会 | | 3年目 | | | | | | R4 |
| 指定期間 | 令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日 | | 4年目 | | | | | | R5 |
| 評価対象期間 | 令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日 | | 5年目 | | | | | | R6 |

| ●総合評価の基準 | | |
|----------|-------|------------------------------------|
| 5 | ☆☆☆☆☆ | 評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である |
| 4 | ☆☆☆☆ | 評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である |
| 3 | ☆☆☆ | 評価基準の最も多い評価が☆☆☆である |
| 2 | ☆☆ | 評価基準の最も多い評価が☆☆である |
| 1 | ☆ | 評価基準に☆が1以上ある |

| ○その他の項目 | |
|---------------|-----------|
| 公募・非公募の別 | 公募 |
| 使用料・利用料金制の別 | 使用料 |
| 指定管理者による運営開始日 | 平成18年4月1日 |
| 施設の供用開始日 | 平成18年度 |
| 指定管理導入前の運営形態 | 包括的委託 |

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

| ●指定管理者の総合自己評価… | ☆☆☆☆☆ | ●市(施設所管課)の総合評価… | ☆☆☆☆ |
|---|-------|---|------|
| 令和2年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入) | | 事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入) | |
| 複合施設内、小学校近隣という特色を活かし、渋川まちづくりセンターの貸館を利用して活動するとともに誕生会やその他、季節毎の行事など子どもたちの自主性で活動が進められるように努めた。 送迎時の保護者とのコミュニケーションを大切に子どもの姿を共有し、アンケートでニーズを聞き取るなど子ども、保護者にとって安全に、安心して利用していただけるよう支援員全員で意識してかわる。 | | 概ね適正な管理運営ができています。人員配置、保育業務、学校・保護者との連携、児童への対応、苦情・要望への対応など、サービスの質の向上に努めながら、良好に管理運営がなされている。 特に、報告が必要な怪我がなく、安全に運営出来たことは、大いに評価できる。 | |
| 事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入) | | 公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証 | |
| ・子どもたちのかかわりを大切に自主的に活動できるように意識して保育に努めた。 ・法人運営の児童センターを利用して英会話遊びや自然体験活動等に取り組んだり、また、こども園のプールを利用する等のびっ子の部屋ではできない活動を積極的に取り入れたり、複合施設の特性を活かし、まちづくりセンターの大会議室を利用して運動遊び(体幹)活動をした。 ・緊急事態宣言下、運動遊びの講師と共に自宅でも楽しみながら体幹を鍛えられる動画配信を行い、休んでいる児童の健康維持に努めた。 | | (公募による応募状況等) 公募による募集を行い草津市指定管理者選定評価委員会での審査、意見により候補者選定を行った。現指定管理者は市内複数の児童育成クラブにおける指定管理者としての実績を踏まえ、他の申請団体と比して保育理念等に優れ、児童に対する安全管理について学校等関係機関との連携を密にしている点で高く評価でき、令和2年度においても、指定施設の効用を最大限に発揮した施設の管理・運営を果たした。 (使用料導入についての効果の検証) 公設児童育成クラブは草津市児童育成クラブ条例に基づき、保育料を一律としているため、他クラブとの差異や、指定管理者としてのインセンティブはなく、利用料金制の導入は行っていない。 | |

| ◇施設に係る主な指定管理業務 | |
|------------------------------|--|
| 草津市児童育成クラブ条例第3条に定める、次に掲げる業務 | |
| (1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務 | |
| (2) クラブの施設および設備の維持管理に関する業務 | |
| (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務 | |

| ◆評価基準 | |
|-------|-------------------------------------|
| ☆☆☆☆☆ | 仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である |
| ☆☆☆☆ | 仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である |
| ☆☆☆ | 仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である |
| ☆☆ | 仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である |
| ☆ | 仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である |

| 施設全般の管理運営に関する業務(職員の配置や研修の実施、入所状況等)(仕様書 P1.2) | | | | |
|--|------------|---|-------------|--|
| 評価項目1 | 指定管理者の自己評価 | | 市(施設所管課)の評価 | |
| | 上半期評価 | 基準に対してグループ毎にゆとりある支援員配置を行い、新入所児が安心してのびっ子での生活習慣を身につけられるよう努めた。研修、放課後児童支援員研修に積極的に出席をして、研修レポートを回覧するなどして支援員全体の資質向上に努めた。 | 上半期評価 | コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。児童全体を見渡すため、ゆとりある支援員配置をされていた。また、定員を超える弾力運用での受け入れも行い、児童福祉の推進に協力いただけた。 |
| | ☆☆☆☆☆ | | ☆☆☆☆☆ | |
| | 下半期評価 | 法人独自で看護師を講師に心肺蘇生法、AED、エビペンの講習を実施し、支援員の資質向上に努めた。普段から記入しているヒヤリハットをまとめたものを支援員で周知して危機管理意識の向上に努めた。 | 下半期評価 | コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。市が開催する研修にも積極的に参加し、また、独自で講師を用意し研修するなど支援員等の資質向上に努められた。 |
| ☆☆☆☆☆ | ☆☆☆☆☆ | | | |

| 事業の実施に関する業務(保育・事業の充実に向けた取組、個人情報の取扱い等)(仕様書 P1.2) | | | | |
|---|------------|---|-------------|--|
| 評価項目2 | 指定管理者の自己評価 | | 市(施設所管課)の評価 | |
| | 上半期評価 | 毎月の誕生会など季節の行事(入所式、プール、お楽しみ会など)をできる限り子どもたちの自主性に任せて過程を大切に、実施ができるように支援員がかかわるなど保育の充実に努めた。また、コロナ感染防止のための検温設備やこまめな消毒等にも努める。 | 上半期評価 | コロナ禍ではあるものの、工夫され時季に合ったイベントを実施された。イベントについては、児童を主体になるよう企画されている。コロナ対策としてこまめな消毒作業も実施されていた。 |
| | ☆☆☆☆☆ | | ☆☆☆☆☆ | |
| | 下半期評価 | 毎月の誕生会など季節の行事(クリスマス会、お別れ会など)をできる限り子どもたちの自主性に任せて過程を大切に、実施ができるように支援員がかかわるなど保育の充実に努めた。個人情報を含む書類は鍵付きの書庫や法人施設(笠縫東児童センター)で管理するなど徹底した。 | 下半期評価 | 時季に合ったイベントを実施された。保護者とも連携を取り、意見を取り入れている。イベントについては、児童を主体になるよう企画されている。また、個人情報についても、鍵付きの机に保管し、適正な管理をされていた。 |
| ☆☆☆☆☆ | ☆☆☆☆☆ | | | |

| 児童の保育に関する業務(おたよりの活用、アンケートの実施、児童への対応等)(仕様書 P2.3) | | | | |
|---|------------|--|-------------|---|
| 評価項目3 | 指定管理者の自己評価 | | 市(施設所管課)の評価 | |
| | 上半期評価 | 毎月のおたよりの各家庭への配布をもちろん、学期毎に個別懇談会を実施し、保護者と共に子どもたちの成長を見守れるよう努めた。 | 上半期評価 | 毎月のおたよりで児童の普段の様子を伝えられている。イレギュラー等発生すれば、送迎時に保護者に報告されている。施設の特徴を活かし、地域見守りたいの方など外部関係機関と連携して保育に努められた。 |
| | ☆☆☆☆☆ | | ☆☆☆☆☆ | |
| | 下半期評価 | 毎月のおたより配布と誕生会など行事後には出入口玄関に子どもたちの姿の写真を掲示する。学期毎に個別懇談会を実施するとともに、1月に保護者アンケートを実施し、保護者のニーズを把握し、応えられるよう努めた。 | 下半期評価 | 概ね保護者への連絡・情報共有は出来ている。施設の特徴を活かし、地域見守りたいの方など外部関係機関と連携して保育に努められた。保護者の意見も汲み取り、保育に反映するよう努められた。 |
| ☆☆☆☆☆ | ☆☆☆☆☆ | | | |

| 管理物件の維持保全等に関する業務(保守点検、安全対策等)(仕様書 P3.4) | | | | |
|--|------------|--|-------------|--|
| 評価項目4 | 指定管理者の自己評価 | | 市(施設所管課)の評価 | |
| | 上半期評価 | 支援員による月2回の日常点検と年1回の年間点検を行い、施設の維持管理に努めた。また、複合施設合同の避難訓練(8月、2月)を実施し参加した。玄関口内部にも監視カメラと録画装置を設置し安全対策の向上に努めた。 | 上半期評価 | 安全対策として、防犯・防災マニュアル作成し、それに基づいて避難訓練を実施された。日々清掃活動もされている。まちづくりセンターと合同でも避難訓練を実施された。毎月子どもに防災のテーマを話されている。警報等のアナウンスを保護者に対し実施されている。 |
| | ☆☆☆☆☆ | | ☆☆☆☆☆ | |
| | 下半期評価 | 支援員による月2回の日常点検と消防設備点検を行い、施設の維持管理に努めた。支援時出勤時、子どもの帰所時に検温、健康観察を行うとともに、閉所後におもちゃなど消毒を実施した。 | 下半期評価 | 安全対策として、防犯・防災マニュアル作成し、それに基づいて避難訓練を実施された。日々清掃活動もされている。まちづくりセンターとも連携して訓練されている。毎月子どもに防災のテーマを話されている。警報等のアナウンスを保護者に対し実施されている。 |
| ☆☆☆☆☆ | ☆☆☆☆☆ | | | |